

令和2年度 子どもゆめ基金助成活動 募集説明会

1. 目的

岡山県を中心とした近隣での青少年の体験活動を振興するため、民間団体が実施する体験活動や読書活動に助成する子どもゆめ基金の助成活動募集説明会を岡山県内各地で開催し、青少年の活動機会の増加を図ることで「体験の風をおこそう運動」の推進に資する。

2. 主催

岡山県地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進実行委員会
独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立吉備青少年自然の家

3. 会場・日時

- (1) 勝央会場・・・勝央町公民館 大会議室 【勝田郡勝央町勝間田 200-1】
令和元年9月21日(土) 14:00～
- (2) 岡山会場・・・岡山県生涯学習センター 視聴覚室 【岡山市北区伊島町 3-1-1】
令和元年9月22日(日) 14:00～

4. 対象者

子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む民間団体
(子どもゆめ基金に助成申請をする団体のうち55%は法人格を有しないボランティア団体やサークル等)

※近隣県からのご参加も大歓迎



子どもの体験活動を支援



子どもの読書活動を支援

5. 内容

- 14:00～14:10 子どもゆめ基金の概要説明
国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課 職員
- 14:10～14:30 助成活動の事例発表
助成団体の代表者
- 14:40～15:20 子どもゆめ基金助成活動の募集内容について説明
国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課 職員
- 15:20～16:00 質疑応答
国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部 助成課 職員
事例発表団体

6. 申込方法

- (1) 申込方法は、裏面の参加申込書に必要事項を記入してFAXまたはメールで送信してください。
または右のWEB申込フォームから必要事項を記入の上送信してください。
(WEB申込フォーム <https://forms.gle/62KHWiDgEMnR3kox8>)
- (2) 申込締切は各開催日の3日前としますが、当日の参加も可能です。



問合せ先	国立吉備青少年自然の家	池田, 梅田
申込先	TEL 0866-56-7233	FAX 0866-56-7235
	E-mail	kibi-soumu@niye.go.jp

【送信先0866-56-7235 国立吉備青少年自然の家】

令和2年度 子どもゆめ基金助成活動 募集説明会 参加申込書

	項 目	記 入 欄
1	参加会場 (○をご記入ください)	<input type="checkbox"/> 勝央会場 [9/21 (土) 14:00~] <input type="checkbox"/> 岡山会場 [9/22 (日) 14:00~]
2	団体名	
3	住 所	〒
4	(ふりがな) 参加代表者名	
5	電話番号	※当日も連絡がつく携帯電話等の番号をご記入ください
6	参加人数	名 (参加代表者を含む)
7	過去の実績	子どもゆめ基金への申請実績の有無について、○印を付けてください <input type="checkbox"/> 実績なし <input type="checkbox"/> 実績あり (申請した年を○で囲んでください) H31 H30 H29 H28 H27以前
8	備考・質問	詳しくお知りになりたい内容、質問等がありましたらご記入ください

ご記入いただいた個人情報は、「独立行政法人国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規程」等に基づき適切に管理し、この事業に関する事務のみに使用し、法令等に定める場合を除いて第三者に開示することはありません。

説明会中に撮影した写真や制作物、感想文等を当機構の事業報告書や広報等に使用し、ホームページにも掲載することがありますので、ご了承ください。

10万人の力をひとつに

社会とのつながりを広げよう

社会連携・広報フォーラムの開催

日本連盟社会連携・広報委員会では、これまでに多くの県連盟を訪問し、「新広報戦略10本の矢」の普及や協力依頼に取り組んできました。訪問した県連盟では具体的な動きもあり、WEBサイトの充実などさまざまな取り組みを推進しています。

今年度、社会連携・広報委員会はこれまで以上に多くの県連盟を訪問し、スカウト募集やイメージ展開などの具体的な取り組みに関する情報提供を行う「社会連携・広報フォーラム」を実施します。

- 地域における社会連携の進め方
- WEBサイトを使ったPRの具体的方策
- ニュースリリース発信方法

助成金獲得の極意教えます

皆さんの団では、助成金を申請したことがありますか？助成金には、全国規模のものや地域性のあるものなど、さまざまな種類の助成があります。そこで今回は、助成金を申請する際に気をつけたいポイントをご紹介します。

助成金申請のポイント

助成金申請のポイント5か条

- なぜ助成金がほしいのか？ それをはっきりとさせよう！
- 助成金の情報を集めるアンテナを張ろう！
- この「助成を選んだわけ」について提案しよう！
- 熱意は表すもの。だから、はっきりと文章に表現しよう！
- 提出の前に、もう一度。基本をおさえて、道ひらく。

(出典：東京ボランティア・市民活動センター「助成金申請の進め方」)

※詳細は、出典元をご確認ください。

助成金の申請で最も大切なのは、「背景」や「目的」および「目標」です。

「自分たちがこれをしたい！」から助成を申請するのではなく、社会的な課題やニーズなどの背景のもと、「課題解決のために、この活動に取り組めます！」と申請しましょう。

それ以外にも、具体的で実施可能な「計画」、活動で得られる「成果」、事業実施後の「展開」についても、一貫したものになっているかがポイントになります。

気をつけたいポイント

1. 背景
2. 目的
3. 目標
4. 計画
5. 成果
6. 助成事業後の展開

一般の子どもたちと一緒に行うプログラムが good!

ふだんの活動自体に対して助成金を申請するというよりは、一般の子どもたちがボーイスカウトの活動に参加することで健全育成につながるというプログラムを実施する際に活用してみましょう。これにより、これまでボーイスカウトと接点がなかった子どもたちに、ボーイスカウトの魅力を知ってもらうチャンスができます。

- 広報ツールの活用
- 助成金獲得の極意

主に上記のような内容で、各県連盟の状況や希望に応じて内容を決定していきます。いずれも、各団で取り組める具体的な例や情報をお伝えする予定です。現場で活躍するビーバー隊やカブ隊の指導者、団運営者、広報や資金集めに携わる方、新たな取り組みに挑戦したい方の参加を歓迎します。

今号では、フォーラム内容から実際のスカウト活動の内容を知ってもらうためのプログラム実施に役立つ「助成金申請」のポイントをご紹介しますとともに、ローバースカウト年代向け事業の取り組みをご報告します。

ここで一例として、独立行政法人青少年教育機構が展開する「子どもゆめ基金」の助成分野をご紹介します。「1. 自然体験活動」の具体例を見ると、ボーイスカウトのメイン活動である野外活動（ハイキングやキャンプなど）が挙げられており、この分野で申請したくなりますが、この分野は応募が多いため採択率が低くなってしまいます。

そこで、「1. 自然体験活動」をメインに複数分野を組み合わせる「6. 総合・その他の体験活動」として申請したりするのもひとつです。子どもゆめ基金のホームページ (<https://yumekikin.niye.go.jp/>) には、具体例も掲載されていますので、まずは参考に見てみましょう。

分野	具体例
1 自然体験活動	ハイキング、キャンプ、野外炊事など
2 科学体験活動	実験教室、ものづくり体験やプログラミングなど
3 交流を目的とする活動	異年齢交流、地域交流など
4 社会奉仕体験活動	地域清掃、環境美化、社会福祉施設慰問など
5 職場体験活動	地域農家の指導による米作り、インターンシップなど
6 総合・その他の体験活動	上記の複数分野を組み合わせた活動など

(出典：子どもゆめ基金「子どもの体験活動・読書活動 平成31年度助成募集案内」)

参考 助成金の情報源

助成金には、地域の中でこそ活用しやすいものも多くあります。インターネット上の情報源は、以下のものがおすすめです。

- ▶ CANPAN (助成制度一覧) <http://fields.canpan.info/grant/>
- ▶ 公益財団法人助成財団センター (助成金情報) <http://www.jfc.or.jp/grant-search/guide/>
- ▶ 認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 (助成金情報) <http://www.npweb.jp/topics/news/subsidy/>

多くの人が体験を経て入団を検討することでしょう。ひとりでも多くの子どもたちがボーイスカウトの活動に触れ、さらにスカウトになってさまざまな経験を積めるよう、皆さんのプログラムでも「助成金」を活用してみませんか。

社会連携・広報フォーラムでは、より具体的な例をもって助成金獲得のポイントをご紹介します。